

2017年度国際版画美術館事業報告書【講座・イベント版】

プログラム名	2017年度ピックアップ技法講座「スクリーンプリントで紙にも布にも刷ってみよう！」					
講師等	実技指導:普及係学芸員(上村牧子)、 制作補助:普及係臨時職員(木村真由美)、助手(山成景子、松塚実佳)				担当者名	普及係 上村牧子
開催日・時間	開催日 9/16(土)、23(土)、24(日)(全3回) 時間 午後1:30~4:30				場所	アトリエ・版画工房
参加者数	対象	定員	実績	市民率	応募者数	当選倍率(受講歴による調整を実施)
	高校生以上、 初心者	10人	10人	70%	市内:9人、市外:16人	市内:1.29、市外:5.33、合計:2.50 倍
事業概要	感光法によるスクリーンプリントの基礎的な制作(原稿2点、画面サイズ8×10cm以内、単色刷り)。紙以外の支持体(布バッグなど)にも印刷する。					
ねらい・対象	実技指導	展覧会関連	学校連携	友の会連携	その他	
	ねらい:スクリーンプリントの制作を体験し、布などに印刷することで生活に版画制作を取り入れる。 対 象:3日とも参加できる高校生以上の初心者。					
主な収入	参加料収入					その他の特定財源
	6,000 円 × 10 人 = 60,000 円					0 円
事業経費	<p>●消耗品費 15千円 新規に購入 ①版(感光スクリーンセット倍判)12枚:10,104円、②A4サイズ布製エコバッグ10枚:1,900円、 ③刷る紙(かきた50×80cm10枚、クラフト紙製小袋50枚):3,085円、 在庫で対応 マットフィルム、原稿用描画材、感光乳剤、バケツ、印刷用インク、スキージ、マスキングテープなど</p> <p>●人件費 84千円 臨時職員7,950円×講座回数3回=23,850円 助手10,000円×講座回数3回×2名=60,000円</p> <p style="text-align: right;">合計:99千円</p>					
主な広報・取材等	広報 チラシ、広報まちだ、版画美術館HP、生涯学習NAVI、 取材 なし					
アンケート結果	回収数	回収率	満足度	回答した市民率	回答した市外者率	アンケート実施方法
	9 件	90%	100%	67%	33%	講座最終日に実施
	主なご意見	別紙のとおり。				
反省点と改善方法	予備調査	2016年度に川崎市民ミュージアムで開催された講座を調査し講座内容や進行の参考としたほか、現在もスクリーンプリントで制作されている物(絵本、スカーフ等)を調査し、生活に身近な技法であることを紹介する資料とした。				
	募集期間	2017年8月2日~20日				
	広報	通常の広報(館ホームページへの掲載や、「講座案内」およびチラシの配布)に加え、2017年度春の企画展「横尾忠則 HANGA JUNGLE」展の会場出口と、受講生作品展(市民展示室で2017年5月開催)会場内でチラシを配架したほか、チラシ配布先に服飾系の専門学校などを加えた。				
	応募状況	若年層の応募を期待して土日開催としたが、応募時の年齢記載は任意のため結果は不明。アンケートから当選者10人のうち2人が30代と判明。およそ期待通りではないかと推測する。応募人数は他講座と同様の状況だった。				
	会場設営	講座前日にアトリエを設営。受講生1人が机1台を使用してゆったりと制作できるスペースを確保したほか、すぐに制作に入れるよう備品等を各机に設置した。				
	備品等手配	講座開始前までに適切に手配することができた。				
	当日進行	会場のアトリエと暗室が離れているため、助手2名を暗室の作業に充てた。結果として製版作業をスムーズに行うことができ、待ち時間を減らすことができた。2日目の各自の制作では原稿2枚を1つの版に感光して刷ったところ、上手く刷れない受講生もいたため、その場合は1つの版に1枚の原稿を感光して刷るよう変更したほか、印刷時に養生テープで机と版を固定したが動いてしまう場合があり、留める箇所を増やすなどした。				
その他特記事項	生活に身近な版画という視点から、工芸的なスクリーンプリント制作に取り組む愛好家を増やし、一般開放の利用に繋げたいという期待もあったが、今回はそれに至らなかった。もっと作ってみたいと思うような工夫や、スクリーンプリントで制作を続けたいと考えている方に向けた広報などが課題と思われる。					

講座の様子



①1日目:体験制作(版の下準備)

暗室にて体験制作用の版2枚に感光乳剤を塗る。
版1枚に実演後、受講生の1人に体験してもらう。



②1日目:体験制作(原稿用描画材の説明)

原稿作成のため、描画材による表現の違いを紹介する。
その後、2班に分かれ班毎に原稿を作成。



③1日目:スクリーンプリントの資料解説

絵本やスカーフなどの制作で活用されている
スクリーンプリントの技を紹介。



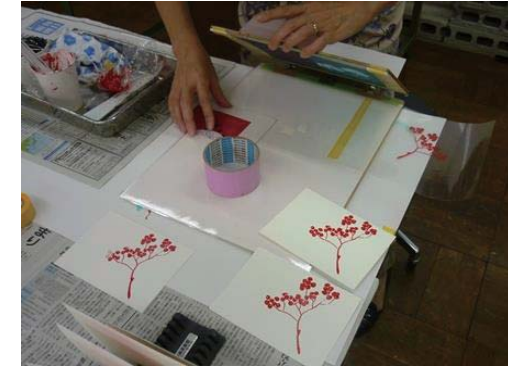
④1日目:体験制作(印刷)

班毎に原稿を版に焼き付け(感光)、完成した版で
刷りを体験。紙と布それぞれに印刷する。



⑤2日目:下絵の転写(原稿作り)

各自が用意した下絵をもとに原稿を作成し、版を作る。
余裕がある人は印刷。



⑥3日目:印刷

前日に作成した版を刷る。余裕がある人は色を
変えたり、持参した支持体に印刷。



⑦完成作品

同じ版でも色を変えたり、連続して印刷する等工夫し
ている。支持体を変えるだけでも楽しみ方の幅が広がる。



⑧布への印刷

講座後に縫製するため、様々な布に
印刷しているところ。

◆実技講座 参加者アンケート 集計◆

講座名:ピックアップ技法講座スクリーンプリント
 実施日:2017年9月16日(土)23日(土),24日(日)
 受講生 10名 回答数 9名

1. この講座を何でお知りになりましたか？(複数回答可)

①版画美術館のホームページ	1
②「広報まちだ」	3
③チラシ	3
④来館して知った	2
⑤その他	
無回答	

チラシ受け取り場所:鶴川市民センター、版画美術館、新聞の折込(広報まちだ?)

その他:

2. 講座を受講した感想をお聞かせください。

- ① 非常に満足 ② 満足 ③ ふつう ④ やや不満 ⑤ 不満 無回答

3. 講座内容は良かったと思いますか？

- ① 非常にそう思う ② そう思う ③ ふつう ④ あまり思わない ⑤ 思わない 無回答

4. 説明はわかりやすかったですか？

- ① 非常にそう思う ② そう思う ③ ふつう ④ あまり思わない ⑤ 思わない 無回答

5. 講座の進行や準備は良かったと思いますか？

- ① 非常にそう思う ② そう思う ③ ふつう ④ あまり思わない ⑤ 思わない 無回答

6. 版画の設備や道具は良かったと思いますか？<使いやすさなど>

- ① 非常にそう思う ② そう思う ③ ふつう ④ あまり思わない ⑤ 思わない 無回答

7. 講座期間は適当でしたか？<日数、時間>

- ① 短い ② やや短い ③ 適当 ④ やや長い ⑤ 長い 無回答

8. この講座を受講して、版画や美術に対する意識に変化がありましたか？

- ① 非常にそう思う ② そう思う ③ ふつう ④ あまり思わない ⑤ 思わない 無回答

9. 当館の講座をまた受講してみたいですか？

- ① 非常にそう思う ② そう思う ③ ふつう ④ あまり思わない ⑤ 思わない 無回答

性別

- ① 男性 ② 女性

年齢

- ① 10歳代 ② 20歳代 ③ 30歳代
 ④ 40歳代 ⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代

居住地

- ① 町田市内 ② その他

その他:越谷市、稲城市

感想、意見など

- ・楽しかった(4)
- ・丁寧に教えてもらった。(2)
- ・説明が的確(2)
- ・助手の方もてきぱきと手伝ってもらった。(1)
- ・他の技法もやってみたい。(2)
- ・昔からやってみたいと思っていたのが体験できて良かった。(1)
- ・これを機会にスクリーンプリントを作っていきたい。(1)
- ・作品を見るのと刷るのとは大違い、見方も深まった。(1)
- ・こういう施設があることを今回初めて知った。(1)
- ・美術館への行き来(交通)が大変だった。(1)